

気になる! 仙台市地下鉄の裏側徹底調査!

仙台市営バスを使って各地を巡る好評連載。今回は仙台市地下鉄の裏側に迫る特別編! 日頃から地下鉄を利用する編集部ありちゃが、地下鉄ユーザーの皆さんを代表して南北線の関係施設に潜入調査してきました!

気になる! 1 地下鉄運転士さんの仕事内容を知りたい!

朝から晩まで年中無休で運行し、私たちの生活を支える仙台市地下鉄。南北線の運転を担当する運転課富沢乗務区・運転士の皆さんに、気になることをたっぷり質問!



理由を教えてください!
皆さんが地下鉄運転士を志した理由を教えてください!
以前は宮城から上京し「東京メトロ」で働いていました。そこで培った知識や経験を活かして地元に戻りたいという思いがだんだん強くなり、仙台市交通局へ転職しました。
宍戸さん: 私は以前通信インフラ系の仕事をしていました。皆さんの生活を

支える仕事はともやりのないが、新たなステップに進みたいという気持ちも感じていました。そんなタイミングで地下鉄東西線が開業したので、「次は交通インフラの仕事してみよう!」と思い、転職に踏み切りました。
三浦さん: 子どもの頃、父と2人で東日本を周る鉄道旅行をしたんです。その時から漠然と「鉄道っていいな」と思っていました。震災を経験し、宮城で働き

たいという想いもあり、仙台市交通局への入局を決めました。
吉澤さん: 仕事を探していた時に運転士の募集を見つけて入局しました。当時、富沢乗務区には女性職員が私一人だけで大変なこともありましたが先輩方がやさしく接してくださり、今も楽しく働いています。
仕事のやりがいは何ですか?
宍戸さん: やはり市民の方々の生活を支えているという実感が持てることです。
三浦さん: 子どもにとって運転士は憧れの存在。手を振ってもらえたり、声をかけてもらえたりした時「この仕事をしたいよかったです」と感じます。
吉澤さん: 地下を走っているのが大雨や地震があっても運行できることが多いのですが、そんな時「地下鉄が動いてよかった!」と言っていたら嬉しいですね。
佐野さん: 普段生活の中で、電車が動いていることって当たり前だと思うんです。そんな中「ありがとう」と声をかけていただいた時は、とてもやりがいを感じますね。
大変なことは何ですか?
三浦さん: 恥ずかしい話ですが、運転中はトイレに行けないこと(笑)。お腹を壊してしまったりと不安になってしまったりもあります。
吉澤さん: 勤務が不規則なので、睡眠時間が日によってまちまちです。リラックス効果のある入浴剤を使うなど、しっかり休息をとれるように意識しています。
佐野さん: 仙台市地下鉄は、運転業務と車掌業務を1人で行う、ワンマン運転、と呼ばれる運行方法を取っています。

やりがいがある一方で、大変なところでもありません。
宍戸さん: 体調を崩すとほかの運転士に迷惑をかけてしまうので、体調管理には特気を遣います。
南北線で、お気に入りの駅はどこですか?
吉澤さん: 黒松一中央間がとても好き。キレイな花や野鳥が見えて、四季の移りを感じられます。
佐野さん: 僕は八乙女一中央間です。夏は花火、冬はイルミネーションなど、「七北田公園」の美しい景色がとてもよく見えます。
宍戸さん: 旭ヶ丘駅が好きです! 天気がいい日には、車両の窓から光がいっぱい入ってきます。新緑の季節は特にキレイでお気に入りです。
三浦さん: 人の往来が多い仙台駅かな。地下鉄を降り降りする方々を見るとなんだかワクワクします。
仙台市地下鉄の好きなポイントはどこですか?
佐野さん: 駅のホームで音楽が流れていることですかね。実は全国的にとっても珍しいですよ! 運転の待機中などよく聴いています。
宍戸さん: 地上に出る路線で季節を感じられること。南北線沿いは公園が多いので、自然からパワーをもらえます!
三浦さん: 仙台の街をイメージした地下鉄のデザインが好きです。黄緑と深緑のラインで、杜の都を表しているんですよ!
吉澤さん: やっぱり車両の窓から見える景色です。眺めていると、通学で利用していた学生時代のことなどさまざまな思い出が蘇ります。

気になる! 2 地下鉄の車両基地には何があるの?

普段私たちは入ることのできない地下鉄の車両基地。中はどんな施設になっているのか、富沢車両基地の中を特別に見せてもらいました。



地下トンネルの点検に用いる特殊車を保管するトロッコ庫。「レール削正車」「多頭タンパー車」「電気高所作業台車」など珍しい車両がずらりと並びます。

南北線の線路には、運行による衝撃を緩和するために「砕石」が敷かれています。「砕石散布車」の中には砕石が大量に積み込まれていました。



地下鉄の安全を守るスタッフの皆さん

電気課: 木血雅之さん 佐々木文明さん 佐々木 章さん 富沢管理事務所: 角張貴彦さん 吉田清隆さん 阿部正尚さん

この日は、5年に1度行われる「重要点検」の真っ最中! 地下鉄車両内のシートや吊り革を取り外して点検を行っていました。



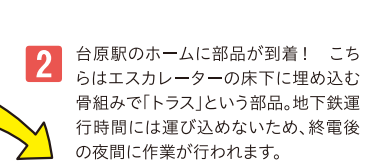
車両基地内には「塗装ブース」を完備。10年に1度の検査期間中に、車両の塗装補修も行っていきます。

気になる! 3 地下鉄の駅はどのようにして管理しているの?

仙台市交通局では各地下鉄駅の管理も行っています。工事の案内表示を見たことがある人も多いのではないでしょうか? 今回は、まさに今行われている南北線台原駅のエスカレーター工事の様子をレポートします。



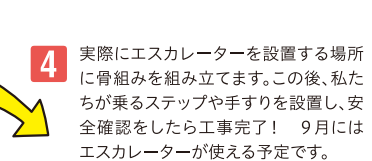
1 エスカレーター工事に使用する大型の部品は地下から運ぶため、富沢車両基地からモーターカーで台原駅まで運搬します。



2 台原駅のホームに部品が到着! こちらはエスカレーターの床下に埋め込む骨組みで「トラス」という部品。地下鉄運行時には運び込まないため、終電後の夜間に作業が行われます。



3 階段にレールを設置し、設置場所まで部品を移動させます。骨組みなど大きな部品は、分割して運ぶこともあるそう。



4 実際にエスカレーターを設置する場所に骨組みを組み立てます。この後、私たちが乗るステップや手すりを設置し、安全確認したら工事完了! 9月にはエスカレーターが使える予定です。

編集部Voice 地下鉄運転士さんから見た地下鉄の魅力はとっても胸に響きました! また、工事の裏側も見ることができ、さらに地下鉄への関心が高まりました。地下鉄の新たな魅力を知って、毎日の通勤時間がより楽しくなりそう!

仙台市交通局
Transportation Bureau City of Sendai

交通局ウェブサイト
交通局Twitter

仙台市営バス・地下鉄に関する問合せ | 交通局案内センター ☎022-222-2256
☎08:30~18:30(土・日曜、祝日~17:00)
https://www.kotsu.city.sendai.jp

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた交通局からのお知らせです。

交通局での取り組み
●バス・地下鉄車内の定期的な換気及び抗ウイルス処置
●主要なバスターミナルや地下鉄駅等への消毒液の設置

お客様へ
お客様におかれましては、地下鉄・バス車内でのマスク着用・咳エチケットに引き続きご協力をお願いします。また、ご乗車の際は、必要のない会話は、できるだけ控えるようご協力ください。これからもお客様の安全・安心を第一に取り組んでまいります。